

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html

毎月第3日曜日は「家庭の日」

ちびっこふるさと探検隊in新座市

8月4日(木)～5日(金)の2日間、那須塩原市と埼玉県新座市の交流事業「ちびっこふるさと探検隊」が新座市で行われました。那須疏水と野火止用水が縁で交流が始まったこの事業に、両市の小学5・6年生各17人の合計34人が参加しました。

今回も、昨年に引き続き5・6年生17人のほか那須塩原ジュニアリーダースクラブの高校生2人が指導員として参加し、それぞれの市役所職員とともに小学生の指導にあたりました。

参加した小学生は「すごく楽しかった。新座市や市内の違う学校の友だちがたくさんできたし、初めて座禅やうどん作りを経験して、心に残る思い出となった。」と話していました。2人の高校生も最初は戸惑っていましたが、「小学生のお手本にならなきゃ」との思いから、指導員として一生懸命頑張りました。小学生も高校生も思い出に残った2日間でした。



大田原市立図書館へようこそ!

大田原市立図書館(大田原・黒羽・湯津上図書室)は2010年4月から、図書館の指定管理者制度へ移行しました。開館時間の延長、窓口サービスの充実やスタッフのおすすめ図書コーナーの開設など、皆様が利用しやすい図書館を目指しています。

昨年8月には図書館キャラクター「大田ワラオ」が登場しました。大田ワラオは図書館スタッフが発案しました。皆様に愛されるキャラクターとなるべく、図書館だよりや図書館主催のイベントに登場しています。



また、大田原市立図書館では、学校支援図書貸出事業(かがやき文庫)をスタートします。これは、大田原市内の小中学校を対象に行うもので、より新しい図書を児童・生徒に提供することにより、読書に親しむとともに学力向上に資することを目的としています。9月末まで試行を行い、10月から正式に運用を開始します。



※しかけ絵本教室での1コマ

皆様の「大田原市立図書館」への来館をお待ちしています!

「家読(うちどく)」応援団

みなさん、「家読(うちどく)」をご存じですか?

「家読」とは、「家庭読書」の略語で「家族ふれあい読書」を意味します。この「家読」は、全国の学校で行われている「朝の読書」の家庭版として考えられたもので、家族で本を読んでコミュニケーションし、「家族の絆づくり」を目的としています。

那須教育事務所では、その家庭での読書活動を応援しようと、ホームページに「みんなで本にふれよう!子どもの読書活動」を新設しました。この開設にあたり、那須地区内の市町教育委員会教育長の皆様から「わたしの読書体験記」に、原稿を寄せていただきました。少年期の読書体験がつづられたもので、本との出会いが心を豊かにしてくれることを実感できます。ぜひ、那須教育事務所ホームページにアクセスし、「家読」にお役立てください。

「家読」のやり方に特に決まりはありません。基本は、「読んだ本について家族で話す」ということだけです。同じ時間、同じ空間を家族で共有し、読んだ本についてお話しすれば、きっと楽しい時間となるでしょう。それぞれの家庭の事情にあわせて、本に関する会話を楽しんでみませんか。

～子どもたちの笑顔あふれる日～ 第9回那須町子どもフェスティバル

子どもたちによる子どもたちのためのお祭りを一という思いから、那須町では7月31日(日)に「子どもフェスティバル」を開催しました。

今回から初めて「子ども実行委員会」を結成し、小学4年生から高校2年生の総勢17人が、事前の準備から当日の片付けまで、率先して運営を行いました。また、子ども実行委員会だけでなく、子どもたちの将来を考える有志や育成会からつくる「フェスティバル実行委員会」と高校生ボランティア「JLC」(ジュニアリーダースクラブ)が一緒になって運営したことにより、当日は小雨も混じる天候でしたが、活気にあふれた声が会場のいたるところから聞こえてきました。

「みんなのステージ」では、那須高校生が作成した「那須かるた」を利用し、「かるたとり選手権」も行われました。参加した子どもたちは目を輝かせながら競い合っていました。

那須町ではこれからも、子どもたちがチャレンジ精神を持って多くの体験ができる機会づくりを推進していくそうです。

